

令和 7 年第 3 回雲仙市議会定例会

市 長 報 告 (開 会)

令和 7 年 8 月 2 7 日

雲仙市長 金澤 秀三郎

はじめに、８月９日から１２日にかけて発生した大雨による本市の被災状況について報告させていただきます。

断続的に発生しました線状降水帯により、雲仙岳の最大時間雨量で８２．５ミリを観測するなどの大雨に見舞われましたが、８月２０日現在、主なもので道路９箇所、河川１２箇所、農地１１箇所、農業用施設６箇所の被災を確認しております。

今後の復旧につきましては、国の災害復旧事業を活用するなど、公共土木施設及び農地・農業用施設の早期復旧を行い、市民の安全確保と機能回復に努めてまいります。

併せて、災害時における相互応援に関する協定を締結しております鹿児島県霧島市と熊本県長洲町につきましては、現在のところ災害派遣の要請はあっていないところでありますが、この間の大雨災害では、熊本県及び鹿児島県に甚大な被害をもたらしたことから、被災地の方々の生活を支援するため、市役所本庁、福祉事務所及び各総合支所に、義援金の募金箱を設置いたしました。

今回被災された各地の皆様に対しまして、心からお見舞い申し上げます。

続きまして、市民の皆様のご活躍につきまして、報告させていただきます。

【長崎県中学校総合体育大会について】

7月19日から28日にかけて、「長崎県中学校総合体育大会」が県内各地で行われ、雲仙市内の中学校から13競技に出場されました。

個人種目では、陸上競技男子共通砲丸投げで国見中学校の古賀千聖さんが、同じく女子共通走幅跳びで国見中学校の森田かりんさんが見事優勝を、また、剣道競技男子で愛野中学校の太田凜太郎さんが、第3位入賞を果たされました。

団体種目では、卓球女子で小浜中学校、剣道男子で愛野中学校がどちらも第2位入賞を果たされ、個人・団体ともに8月上旬に九州各地で開催された九州大会に出場されました。

【スポーツの分野における活躍について】

8月2日から5日にかけて開催された「令和7年度全国高等学校総合体育大会ソフトボール競技大会」において、本市在住の7名の選手を擁する長崎県立大村工業高等学校が見事優勝を果たされました。

【ジュニアスポーツの分野における活躍について】

7月に開催された「スミセイ Vitality カップ J V A 第45回全日本バレーボール小学生大会長崎県男子の部」において準優勝を果たされた「多比良男子バレーボールクラブ」が8月22日から24日にかけて開催された「第40回記念全九州小学生バレーボール優勝大会 in 福岡」に出場されました。

7月26日から27日にかけて開催された「令和7年度長崎県中学校総合体育大会ソフトボール競技」において優勝された本市在住の1名の選手を擁する島原 J H S 女子ソフトボールクラブが8月3日から6日にかけて開催された「令和7年度九州中学校体育大会第52回女子九州中学校ソフトボール競技大会」に出場しました。

さらに、8月3日から5日に開催された「令和7年度九州中学校体育大会第37回男子九州中学校ソフトボール競技大会」において優勝した本市在住の7名の選手を擁する島原 J H S 男子ソフトボールクラブが8月18日から20日にかけて開催された「令和7年度全国中学校体育大会第47回全国中学校ソフトボール大会」において、見事三位入賞を果

たされました。

【雲仙市中学生弁論大会について】

7月29日に開催された「第75回社会を明るくする運動第18回雲仙市中学生弁論大会」において、各中学校の代表7名が参加し、千々石中学校3年の藤下芙紅さんが最優秀賞に選ばれました。藤下さんは8月2日に長崎市で開催された県大会に出場され、優秀賞を受賞されました。

この度、様々な分野においてご活躍され、また、受賞をされました皆様方に対し、心からお祝い申し上げますとともに、なお一層のご活躍を期待しております。

続きまして、主な市政の取り組み等につきまして、第2次雲仙市総合計画の基本方針に基づき、報告させていただきます。

【基本方針1「暮らしと安心」の分野について】

地域福祉の充実につきましては、令和7年トカラ列島近海を震源とする地震により被災し、避難を余儀なくされる方々の生活を支援するため、市役所本庁、福祉事務所及び各総合

支所に、義援金の募金箱を設置いたしました。

次に、地域防災体制の強化につきましては、7月1日、南海トラフ地震が発生した場合に著しい地震災害が生ずる恐れがある地域として、本市が「南海トラフ地震防災対策推進地域」に指定されました。

今後、雲仙市地域防災計画の見直しを進めるとともに市民の皆様に周知を図り、安心安全なまちづくりを目指してまいります。

また、市内各地域での自主防災活動等を推進するため、7月26日、趣旨に賛同いただいた市内防災士の皆様に構成する、雲仙市防災士ネットワークが設立されました。

今後、市と防災士が連携して市民の防災意識の向上や地域自主防災組織の育成に努めてまいります。

【基本方針2「産業と交流」の分野について】

企業誘致と起業支援につきましては、7月23日に、多比良港工業団地約1.1ヘクタールを1月に売却いたしました社会福祉法人南高愛隣会様が、新たな製麺工場建設にかかる地鎮祭を執り行われました。製麺工場は令和8年春の操業に

向け、建設を進められると伺っております。

受け入れ基盤の整備・充実につきましては、8月12日、第1回雲仙市宿泊税検討委員会を開催し、学識経験者や観光関係者等で構成される委員7名に委嘱状を交付いたしました。

今後は、同委員会において、本市における宿泊税導入の妥当性や課税要件等について議論していただき、その検討結果をご報告いただく予定としております。

多様な交流の実現につきましては、8月1日、長崎ミュージックマラソン実行委員会設立総会が開催され、大会名称が正式に「長崎ミュージックフェスマラソン」に決定いたしました。令和9年1月に開催を予定している本大会は、「ランニング」と「ミュージック」を融合させた、新たなコンセプトのマラソンイベントとして開催するものであり、国内外から訪れる多くのランナーや関係者による交流人口の拡大を図るとともに、多くの皆様に本市の魅力を感じていただくことで、地域の活性化と経済効果の創出を目指してまいります。

【基本方針4「人財と郷土」の分野について】

青少年の健全育成につきましては、８月１８日から２５日にかけて、「天正遣欧少年使節ゆかりの地首長会議海外派遣事業」に参加した市内在住の２名の中学生が、イタリア共和国を訪問し、ローマ教皇の一般謁見において、私も参加させていただきました。また、ローマ教皇庁、バチカン図書館、在バチカン日本国大使館並びに在イタリア日本国大使館へ、千々石ミゲル墓所発掘調査報告書を直接お渡しし、今なお研究が続いていることなどをお伝えしました。

今回の海外派遣事業に参加した中学生には、異国の文化や伝統、生活様式に触れるなど、かけがえのない貴重な経験を通して、将来、国際感覚を備えた地域のリーダーとして育ってくれることを期待しております。

【基本方針５「協働と戦略」の分野について】

市民活躍のまちづくりにつきましては、８月１３日に「飛子納涼祭り」、８月１５日に「みずほ夏まつり」、８月１６日に「吾妻町夏祭り」、８月１７日に「第１６回南串山ふるさと夏まつり」、８月２４日に「第１２回ふれ愛愛の夏まつり」、が開催されました。

当日は多くの人で賑わっており、主催者の皆様のご尽力に対し、感謝申し上げます。

情報管理とＩＣＴにつきましては、行政デジタル化の推進を図るため、業務効率化と市民サービスの向上に向けた全庁的な推進体制を新たに設置し、専門的な知見に基づき助言や支援をいただく、最高デジタル責任者補佐官にソフトバンク株式会社の磯 浩隆氏を任命し、７月３１日に任命式を行いました。今後は、人口減少が進む中で限られた職員数であっても、市民の利便性向上を図るため、デジタル技術を活用した行政サービスの充実に努めてまいります。

自主財源の確保につきましては、７月３１日、株式会社中西製作所様より、「安心して子どもを産み育てるまちづくりと健康で安全な暮らしづくり事業」に対し、８月２６日に株式会社ききつ青果様より、「光り輝く雲仙力アップ事業」に対し、企業版ふるさと納税としてご寄附いただきました。

「長崎県への施策に関する要望・提案書」につきましては、７月２５日、市議会から小畑議長をはじめ、議員の皆様とともに、生活基盤の整備、安心・安全なまちづくり、産業・観光の振興等に関する施策など１１項目をまとめ、大石知事及

び外間県議会議長へ提出いたしました。